

オペラ夏の祭典 2019-20 Japan↔Tokyo↔World
「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
国際共同制作についてのお知らせ

東京文化会館・新国立劇場共同制作くオペラ夏の祭典 2019-20 Japan↔Tokyo↔World <『ニュルンベルクのマイスタージンガー』(2020年6月-7月に上演) につきましては、ザルツブルク・イースター音楽祭、ザクセン州立歌劇場との国際共同制作で上演することが決定しましたので、お知らせいたします。

また、演出は、イエンス＝ダニエル・ヘルツォーク (Jens-Daniel Herzog) が担当しますので、お知らせいたします。

報道各位におかれましては、本件情報の周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

イエンス＝ダニエル・ヘルツォーク (Jens-Daniel Herzog)

マンハイム州立劇場演劇監督を経て、2011年よりドルトムント歌劇場総監督。18年秋よりニュルンベルク歌劇場監督に就任予定。マンハイムのほか、チューリヒ劇場、ハンブルク・ターリア劇場、ウィーン・ブルク劇場などで多くの演劇作品を演出し、ベルリン芸術週間、ミュールハイム演劇祭などに招待されている。オペラでは、チューリヒ歌劇場『タンホイザー』『スペードの女王』『オルランド』『遙かなる響き』(シュレーカー)、マンハイムで『コジ・ファン・トゥッテ』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』、ニュルンベルク歌劇場『アイダ』『トスカ』、韓国国立劇場『ハムレット』、フランクフルト歌劇場『ローエングリン』、ザクセン州立歌劇場『ジュリオ・チェーザレ』、ドルトムント歌劇場『さまよえるオランダ人』『ドン・ジョヴァンニ』『トリスタンとイゾルデ』『リナルド』『オテロ』『アラベッラ』『ナブッコ』などを演出。ドイツ・オペラ界待望の“将来の利器”と期待されている。

オペラ夏の祭典 2019-20 Japan↔Tokyo↔World

ニュルンベルクのマイスタージンガー

指揮: 大野和士
演出: イエンス＝ダニエル・ヘルツォーク
ハンス・ザックス: トーマス・ヨハネス・マイヤー
ファイト・ポークナー: クワンチュル・ユン
ジクストウス・ベックメッサー: アドリアン・エレート
フリッツ・コートナー: 青山 貴
ヴァルター・フォン・シュトルツィング: トミスラフ・ムツェック
ダーヴィット: 望月哲也
エーファ: 林 正子 ほか
合唱: 新国立劇場合唱団、二期会合唱団
管弦楽: 東京都交響楽団

本公演は、ザルツブルク・イースター音楽祭、ザクセン州立歌劇場、東京文化会館、新国立劇場の共同制作で上演されます。

【公演日程】 東京文化会館: 2020年6月14日(日)、17日(水)
新国立劇場: 2020年6月21日(日)、24日(水)、27日(土)、30日(火)
兵庫県立芸術文化センター: 2020年7月(予定)

【本件に関するお問い合わせ、資料のご請求】

東京文化会館 事業企画課事業係: 佐藤・島 Tel: 03-3828-2111 Fax: 03-3828-1601
新国立劇場 制作部オペラ広報: 高梨 Tel: 03-5352-5733 Fax: 03-5352-5709